

地方創生・しがブランド推進対策特別委員会

1 開催日時 令和元年10月9日(水) 14時00分～16時13分

2 開催場所 第二委員会室

3 説明員 総合企画部長、商工観光労働部長および関係職員

4 議事の概要

(1) 次期総合戦略の骨子案について

・基本政策1 出産・子育てにかかる支援について

委員からは、子育てや教育にかかる金額がよくクローズアップされるが、実際には年収に応じた支援や控除もあるので、そのようなシミュレーションができ、情報として届くことが重要である、子育てに係る経済的負担が軽減されるよう、県としても施策に反映し取り組まれない、などの意見が出された。

・基本政策3 「関係人口」等の創出・拡大について

委員からは、過去に何らかの形でかかわったことのあるところでないといと移住先の候補になりやすく、かわりをつくるためには県のブランド力向上が必要である、本県には大学がたくさんあるので、関係人口の創出に向けて、学生時代に滋賀県で暮らした人、滋賀県へ通った人に着目する必要がある、などの意見が出された。

(2) 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策の実施状況について

(3) 地場産業のブランド力向上に向けた取組について

委員からは、信楽焼のような完成品としてのブランド力向上はよくわかるが、高島扇骨のような素材のブランド力は見えにくいので、完成品と素材を区別してブランドの推進を図っていく必要がある、地場産業のブランド力向上には後継者の確保、育成が必要であり、高校や大学での広報に努められたい、などの意見が出された。



委員会に配付された資料

- 1 (仮) 人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり次期総合戦略骨子案 (第2版)
- 2 基本政策1 出産・子育てにかかる支援
- 3 基本政策3 「関係人口」等の創出・拡大
- 1-1 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策の実施状況について
- 1-2 平成30年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策の実施状況
- 2-1 地場産業のブランド力向上に向けた取組について
- 2-2 今年度の主な取組事例